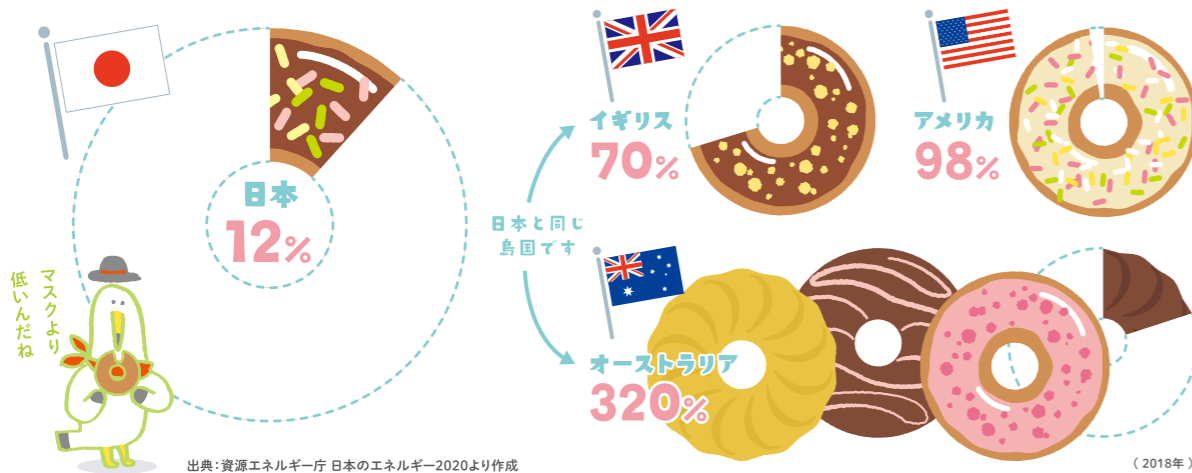


福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力は
くらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネル
ギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なる
べくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。

自給率
といえば **日本のエネルギー自給率は低く、わずか約12%!**



日本はエネルギー資源のほとんどを海外から輸入しています。

- つまり...
- 海外からの輸入が難しくなると、電気が足りなくなることに。
 - 石油などの化石燃料には限りがあり、エネルギー資源の取り合いになれば高額になることも。

輸入が難しくなると...

電気が足りない!?

電気がとても高額!?

不安しか感じないかも

こうならないために

エネルギー自給率を上げよう!

その方法?

- エネルギーを大切に使う(省エネ)
- 国産で無限にある太陽光・風力などの再生可能エネルギーを増やしていく
- 少ない資源でたくさん発電でき、資源のリサイクルができる原子力発電を活用していく

などの方法が考えられます。

自分のぶんは自分でつくれるようになりたいかも

どうして自給率が大事なの?

～マスクから学ぶエネルギー問題～

昨年のいまごろは、どこに行ってもマスクが手に入りませんでしたね。

その原因は「自給率」が低いから。

エネルギーの問題でもよく「自給率」が大切と聞きますが、どういう意味なのかみてみましょう。

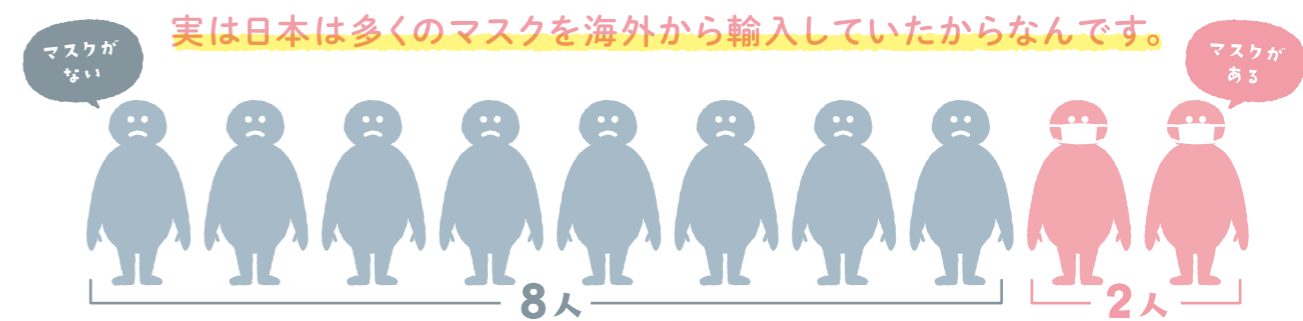
昨年のいまごろは...

マスクが足りない!どこにも売ってない!

マスクがとても高額!

あたりまえにマスクが手に入る今はすばらしい世界かも

どうしてこんなことが起こったの?



その結果...

- 自給率が低かったところに、海外からの輸入が途絶えて品切れに。
- 世界中でマスクの取り合いになり、手に入っても驚くほど高額に。

自給率20%といえます

日本で作れるマスクは10人のうち2人分だけ。

国産マスク

日本のマスク自給率

輸入マスク

出典:一般社団法人 日本衛生材料工業連合会資料を基に作成